

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

<団体情報>

担当小委員会	第 34 小委員会
事務局	(一社) 日本照明工業会

<規格情報>

規格番号(発行年)	JIS C 8105-2-4 (2024)
対応国際規格番号: 発行年	IEC 60598-2-4 : 2017 (Ed.2.0)
規格タイトル	照明器具—第 2-4 部: 一般用移動灯器具に関する安全性要求事項
適用範囲に含まれる主な電気用品名	電気スタンド, 装飾用電灯器具(移動灯), その他の白熱電灯器具(移動灯), その他の放電灯器具(移動灯), エル・イー・ディー・電灯器具(移動灯), 広告灯(移動灯), 庭園灯器具,
廃止する基準(発行年) 及び有効期間	J60598-2-4 (H29) / 有効期間 3 年間 J60598-2-7 (H29) / 有効期間 3 年間
雑音の強さ (当てはまらない選択肢を消去)	・規格適用なし ・表 2 を適用 ・この規格を適用

<審議中に問題となったこと>

特になし。

補足: 適用範囲となる照明器具の例

屋内用卓上形



屋内用床置形



屋外用



出典: (一社) 日本照明工業会 会員各社製品カタログ

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

＜主な国際規格との差異の概要とその理由＞

現在の別表第十二に採用されている技術基準とは相違する主なデビエーション。

項目番号	概 要	理 由
4.1	適用範囲に、この規格を適用する移動灯器具（以下、照明器具という。）の例及び適用しない照明器具の例を、それぞれ追加して明確にした。	規格利用者の利便性を考慮したものであり、技術的な差異はない。
4.6.1	屋外での使用に適さない、普通形照明器具以外の照明器具に適用する屋内専用の表示は、シンボルと「屋内専用」の文字との、いずれか又は両方を選択するようにした。	対応国際規格で要求しているシンボルは、その意味を説明書等に説明する必要があるため使用者には一目で意味が伝わりにくいこと、及び、我が国では文字による表示が一般的であることを考慮したため。
4.7.6	対応国際規格の口出し線に関する細分箇条を不採用とした。	対応国際規格の次回改正において予定されている削除を先取りしたため。
4.7.8	屋外用照明器具の感電保護クラスに、クラス 0 及びクラス 0I を追加した。	我が国で用いられている電源接続方式に対応するため。
4.11.2	屋内用照明器具の感電保護クラスに、クラス 0 及びクラス 0I を追加した。	我が国で用いられている電源接続方式に対応するため。
4.11.4	屋外用照明器具の感電保護クラスに、クラス 0I を追加した。 また、電源ケーブルは、JIS C 8105-1 の 5.2.2 の表 5.1A、又は JIS C 3010 に適合するキャブタイヤケーブルも選択できるようにした。	我が国で用いられている電源接続方式、及びコード又はケーブルに対応するため。
4.12	差込みランプソケットを備える照明器具の感電保護クラスに、クラス 0I を追加した。	我が国で用いられている電源接続方式に対応するため。

＜主な改正点＞

項目番号	概 要	理 由
4.1	適用範囲は、JIS C 8105-2-7（可搬形庭園灯器具）を併合し屋外用及び屋内用の両方に対応した。	対応国際規格の改正において IEC 60598-2-7（可搬形庭園灯器具）を併合したため。 なお、この規格の改正により、JIS C 8105-2-7:2017 は廃止する。
4.5	屋外用照明器具に要求する IP コードの下限を、IPX3（防雨形）から IPX4（防まつ形）へ引き上げた。また、IPX6（耐水形）を追加した。	対応国際規格の改正において、屋外の地面近くに置かれる照明器具に、地面にはね返った雨滴の飛まつが侵入する恐れがあることを考慮し IPX4 へ引き上げたことに対応した。
4.6.1	屋外での使用に適さない、普通形照明器具以外の照明器具に、屋内専用の意味をもつ表示要求を追加した。	対応国際規格の改正に合わせて追加した。 ただし、「屋内専用」の文字とシンボルとの、いずれか又は両方を選択し表示するようにした。

電気用品安全法の技術基準の解釈 別表第十二に提案する規格の概要

項目番号	概 要	理 由
4.7.3	安定性試験の内容を、傾斜面に照明器具を置いた場合を想定し、より具体的な規定に改正した。	対応国際規格の改正に合わせて見直した。
4.7.8	屋外用照明器具が備える電源コンセントに対する IP コードの要求を、より具体的な規定に改正した。	対応国際規格の改正に合わせて追加した。
6.6	屋外用照明器具の IP 試験は、感電保護クラスに関係なく最も転倒しやすい姿勢で試験を行う規定に改正した。	対応国際規格の改正に合わせて見直した。

技術基準との整合確認書

<技術基準省令への整合性>

規格番号：JIS C 8105-2-4:2024 規格名：照明器具—第2-4部：一般用移動灯器具に関する安全性要求事項

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第二条 第1項	安全原則	電気用品は、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないよう設計されるものとする。	■該当 □非該当	4.4 JIS C 8105-1（以下、第1部と記す） 4.27A	一般的要求事項 一般的要求事項は、JIS C 8105-1 の第0章（総則）による。 第1部 4.27A 光出力 一般照明用の LED 照明器具の光出力は、人がちらつきを感じるものであってはならない。	
第二条 第2項	安全原則	電気用品は、当該電気用品の安全性を確保するために、形状が正しく設計され、組立てが良好で、かつ、動作が円滑であるものとする。	■該当 □非該当	4.4 4.7 4.10 第1部 第5章	一般的要求事項 一般的要求事項は、JIS C 8105-1 の第0章（総則）による。 構造 構造は、JIS C 8105-1 の第4章（構造）による。 端子 端子は、JIS C 8105-1 の第14章（ねじ締め式端子）及び第15章（ねじなし端子及び電氣的接続）による。 第1部 第5章 外部及び内部配線	
第三条 第1項	安全機能を有する設計等	電気用品は、前条の原則を踏まえ、危険な状態の発生を防止するとともに、発生時における被害を軽減する安全機能を有するよう設計されるものとする。	■該当 □非該当	4.7	構造 構造は、JIS C 8105-1 の第4章（構造）によるほか、次の4.7.1～4.7.9による。	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				4.7.1	コード又は可とうケーブルの絶縁は、照明器具を移動するとき、調節するとき、及びその支持物に置いたときに、損傷を受けない構造でなければならない。 合否は、目視検査で判定する。	
				4.7.2	配線は、照明器具の通常の動きによって金属部分と擦れて摩耗し、安全を損なう可能性のある全ての箇所を、線ぴ（樋）、留め具又はこれらと同等の絶縁部品で固定しなければならない。可触となる又は可触金属部品と接触する、コード用の線ぴ（樋）及び留め具は、絶縁材料でできているか又は固定した絶縁ライニングを施さなければならない。 合否は、目視検査で判定する。	
				4.7.4	照明器具は、十分な安定性をもたなければならない。	
				4.7.5	キャンドル形照明器具のスイッチ構造規定 E5 ランプソケット及び E10 ランプソケットと定格電圧との関係、及び照明器具の最大電力規定	
				4.13	耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、 JIS C 8105-1 の第 12 章 （耐久性試験及び温度試験）によるほか、次による。	
				第 1 部	第 1 部 4.26 短絡保護	
				4.26	絶縁しない可触の異極の安全特別低電圧部（SELV）の短絡事故の下での安全保護手段を施さなければならない。	
第三条	安全機能を有	電気用品は、前項の規定による措置のみによってはその	■該当	4.6	表示	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第2項	する設計等	安全性の確保が困難であると認められるときは、当該電気用品の安全性を確保するために必要な情報及び使用上の注意について、当該電気用品又はこれに付属する取扱説明書等への表示又は記載がされるものとする。	<input type="checkbox"/> 非該当	4.6.1 4.6.2	JIS C 8105-1 の第3章（表示）によるほか、次の4.6.1及び4.6.2による。 JIS C 8105-1 の3.3.18に規定の文字及び又はシンボルを表示しなければならない。 電源コンセントを備える屋外用照明器具は、JIS C 8105-1 の3.3.15による表示に加え、最大電力を表示しなければならない。	
第四条	供用期間中における安全機能の維持	電気用品は、当該電気用品に通常想定される供用期間中、安全機能が維持される構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.13 4.10 第1部 4.11.4 第1部 4.14.3 第1部 4.18 第1部 4.27B	耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、JIS C 8105-1 の第12章（耐久性試験及び温度試験）による。 端子 端子は、JIS C 8105-1 の第14章（ねじ締め式端子）及び第15章（ねじなし端子及び電気的接続）による。 第1部 4.11.4 通電部は、腐食に耐えるか、又は腐食に対して適切に保護していなければならない。 第1部 4.14.3 調節装置に対する動作サイクル試験 第1部 4.18 耐食性 第1部 4.27B 供用期間中の発煙、発火などの防止 LED 照明器具は、供用期間中に発煙、発火など火災に関連する故障が発生しないように設計しなければならない。	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第五条	使用者及び使用場所を考慮した安全設計	電気用品は、想定される使用者及び使用される場所を考慮し、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.7.7 4.7.8 4.7.9 4.10 4.14	屋外用照明器具のコード入口は、2 か所以下でなければならない。 屋外用照明器具が他の機器へ電力を供給するために備えるコンセントは、それに対応する差込プラグとの間の IP コードが IPX4 以上、かつ、照明器具と同等以上の IP コードでなければならない。 屋外用照明器具のランプソケット及び差込プラグの絶縁部は、耐トラッキング性の材料を用いなければならない。 端子 端子は、JISC8105-1 の第 14 章（ねじ締め式端子）及び第 15 章（ねじなし端子及び電氣的接続）による。 じんあい及び水気の侵入に対する保護 じんあい及び水気の侵入に対する保護は、JIS C 8105-1 の第 9 章（じんあい、固形物及び水気の侵入に対する保護）による。	
第六条	耐熱性等を有する部品及び材料の使用	電気用品には、当該電気用品に通常想定される使用環境に応じた適切な耐熱性、絶縁性等を有する部品及び材料が使用されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.13 4.16 第 1 部	耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、JISC8105-1 の第 12 章（耐久性試験及び温度試験）による。 耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性 耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性は、JISC8105-1 の第 13 章（耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性）による。第 1 部 4.4.7 ラフサービス照明器具に組み込むランプソケット及び差し込みプラグの絶縁部分の耐	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				4.4.7	トラッキング性	
				第1部 4.9.2	第1部 4.9.2 絶縁ライニング（裏打ち）及びスリーブの機械的、電氣的及び熱的強度	
				第1部 5.2.2	第1部 5.2.2 照明器具製造業者が取り付けた電源コードに対する電氣的・機械的性能及び通常の使用温度における最高温度での耐劣化性	
				第1部 5.3.1	第1部 5.3.1 内部配線の適切な種類及びサイズの使用、絶縁の安全性、耐電圧性、耐温度性	
第七条 第1号	感電に対する保護	電気用品には、使用場所の状況及び電圧に応じ、感電のおそれがないように、次に掲げる措置が講じられるものとする。 一 危険な充電部への人の接触を防ぐとともに、必要に応じて、接近に対しても適切に保護すること。	■該当 □非該当	4.7.1 4.8 4.9 4.12 4.15	コード又は可とうケーブルの絶縁は、移動するとき、調節するとき、及びその支持物に置いたときに、損傷を受けにくい構造でなければならない。 沿面距離及び空間距離 沿面距離及び空間距離は、JIS C 8105-1 の第 11 章（沿面距離及び空間距離）による。 保護接地 保護接地は、JIS C 8105-1 の第 7 章（保護接地）による。 感電に対する保護 感電に対する保護は、JIS C 8105-1 の第 8 章（感電に対する保護）による。 絶縁抵抗、耐電圧、接触電流及び保護導体電流 絶縁抵抗、耐電圧、接触電流及び保護導体電流は、JIS C 8105-1 の第 10 章（絶縁抵抗、耐電圧、接触電流及び	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				第1部 4.29	保護導体電流)による。 第1部 4.29 非交換形光源をもつ照明器具(照明器具又は照明器具の部分を破壊することなく、光源の交換及び／又は充電部へ接触ができてはならない。)	
				第1部 4.30	第1部 4.30 使用者非交換形光源をもつ照明器具(使用者非交換形光源を覆って感電に対して保護するカバーがあり、カバーに3.2.24による“感電注意”シンボルが表示されている場合は、二つ以上の独立した固定手段によって、所定の位置に保持されなければならない。)	
				第1部 5.2.10	第1部 5.2.10 ケーブル又はコードが絶縁破壊したとき可触金属部分が充電部となるおそれがある場合は、コード止め具は絶縁物を用いるか、又は固着絶縁ライニングを施さなければならない。	
				第1部 5.3.1.3	第1部 5.3.1.3 内部配線に充電部となる導体をもち、かつ、通常動作状態で可触金属部分があるクラスⅡ照明器具では、少なくとも接触箇所における絶縁は、例えば被覆ケーブル又はスリーブなどを適用することによって、電圧ストレスに対応した二重絶縁又は強化絶縁の要求事項を満たさなければならない。	
第七条 第2号	感電に対する 保護	二 接触電流は、人体に影響を及ぼさないように抑制されていること。	■該当 □非該当	4.9 4.10	保護接地 保護接地は、JIS C 8105-1 の第7章(保護接地)による。 端子	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				4.11	端子は、JISC 8105-1 の第 14 章（ねじ締め式端子）及び第 15 章（ねじなし端子及び電氣的接続）による。 外部及び内部配線 外部及び内部配線は、JIS C 8105-1 の第 5 章（外部及び内部配線）によるほか、次の 4.11.1～4.11.4 による。	
				4.15	絶縁抵抗，耐電圧，接触電流及び保護導体電流 絶縁抵抗，耐電圧，接触電流及び保護導体電流は、JIS C 8105-1 の第 10 章（絶縁抵抗，耐電圧，接触電流及び保護導体電流）による。	
				第 1 部 8.1 第 1 部 10.3	第 1 部 8.1 附属書 A 導電部が感電を生じるかどうかを決める試験 第 1 部 10.3 接触電流，保護導体電流及び電気やけど	
第八条	絶縁性能の保持	電気用品は、通常の使用状態において受けるおそれがある内外からの作用を考慮し、かつ、使用場所の状況に応じ、絶縁性能が保たれるものとする。	■該当 □非該当	4.7.2 4.7.9 4.8 4.10	配線は、照明器具の通常の動きによって金属部分と擦れて摩耗し、安全を損なう可能性のある全ての箇所を、線ぴ（樋）、留め具又はこれらと同等の絶縁部品で固定しなければならない。 屋外用器具のランプソケット及び差込プラグの絶縁部は、耐トラッキング性の材料を用いなければならない。 沿面距離及び空間距離 沿面距離及び空間距離は、JISC 8105-1 の第 11 章（沿面距離及び空間距離）による。 端子	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				4.13	端子は、 JIS C 8105-1 の 第 14 章 （ねじ締め式端子）及び 第 15 章 （ねじなし端子及び電氣的接続）による。 耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、 JIS C 8105-1 の 第 12 章 （耐久性試験及び温度試験）による。	
				4.14	じんあい及び水気の侵入に対する保護 じんあい及び水気の侵入に対する保護は、 JIS C 8105-1 の 第 9 章 （じんあい、固形物及び水気の侵入に対する保護）によるほか、次による。	
				4.15	絶縁抵抗，耐電圧，接触電流及び保護導体電流 絶縁抵抗，耐電圧，接触電流及び保護導体電流は、 JIS C 8105-1 の第 10 章（絶縁抵抗，耐電圧，接触電流及び保護導体電流）による。	
				4.16	耐熱性，耐火性及び耐トラッキング性 耐熱性，耐火性及び耐トラッキング性は、 JIS C 8105-1 の 第 13 章 （耐熱性，耐火性及び耐トラッキング性）による。	
				第 1 部 4.3	第 1 部 4.3 電線経路 電線はなめらかな経路に配し，シャープエッジ・ばり・鋳はりなどから電線の絶縁被覆が損傷を受けないようになっていなければならない。	
				第 1 部 4.9	第 1 部 4.9 絶縁ライニング（裏打ち）及びスリーブ	
				第 1 部 5.3.6	第 1 部 5.3.6 調整可能形照明器具及び自在型照明器具 で，照明器具の通常の動きで配線が金属部分と擦れて	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
					その絶縁を損なう可能性のあるすべての箇所では、配線を絶縁物の線ぴ、電線止め具又は同様の手段で固定して擦れないようにしなければならない。	
第九条	火災の危険源からの保護	電気用品には、発火によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、発火する温度に達しない構造の採用、難燃性の部品及び材料の使用その他の措置が講じられるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.7.9 4.13 4.16 第1部 2.4 第1部 3.2.9 第1部 3.2.13 第1部	屋外用器具のランプソケット及び差込プラグの絶縁部は、耐トラッキング性の材料を用いなければならない。 耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、JISC8105-1の第12章(耐久性試験及び温度試験)による。 耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性 耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性は、JISC8105-1の第13章(耐熱性、耐火性及び耐トラッキング性)による。 第1部 2.4 照明器具の取付面の材料による分類 照明器具が不燃性材料表面にだけ取付に適しているもののシンボル 第1部 3.2.9 可燃性材料表面への直接取付に適さない照明器具の表示 第1部 3.2.13 被照射物が過熱する可能性がある照明器具の表示 第1部 4.15.1 可炎性材料部分の発熱部からの分離、セ	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				4.15.1 第1部 4.15.2 第1部 4.16 第1部 4.21.4 第1部 4.26 第1部 4.27B	ルロイドのような激しく燃える材料の使用禁止 第1部 4.15.2 熱可塑性樹脂材料製照明器具の耐温度性 第1部 4.16 可炎性材料表面へ取り付けの照明器具の過熱対策 第1部 4.21.4 絶縁材料製のランプ収納室の耐炎性及び耐着火性 第1部 4.26 短絡保護 絶縁しない可触の異極の安全特別低電圧部 (SELV) の短絡事故の下での安全保護手段。 第1部 4.27B 供用期間中の発煙、発火などの防止	
第十条	火傷の防止	電気用品には、通常の使用状態において、人体に危害を及ぼすおそれがある温度とならないこと、発熱部が容易に露出しないこと等の火傷を防止するための設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	4.13	耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、JISC8105-1の第12章(耐久性試験及び温度試験)による。	
第十一条 第1項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、それ自体が有する不安定性による転倒、可動部又は鋭利な角への接触等によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、適切な設計その他の措置が講じられるものとする。	■該当 □非該当	4.7 4.7.3	構造 構造は、JISC8105-1の第4章(構造)によるほか、次の4.7.1～4.7.9による。 照明器具は、十分な安定性をもたなければならない。	
第十一条 第2項	機械的危険源による危害の防止	電気用品には、通常起こり得る外部からの機械的作用によって生じる危険源によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように、必要な	■該当 □非該当	4.7	構造 構造は、JISC8105-1の第4章(構造)によるほか、次の4.7.1～4.7.9による。	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
		強度を持つ設計その他の措置が講じられるものとする。		4.7.1	コード又は可とうケーブルの絶縁は、照明器具を移動するとき、調節するとき、及びその支持物に置いたときに、損傷を受けない構造でなければならない。	
				4.7.2	配線は、照明器具の通常の動きによって金属部分と擦れて摩耗し、安全を損なう可能性のある全ての箇所を、線び（樋）、留め具又はこれらと同等の絶縁部品で固定しなければならない。可触となる又は可触金属部品と接触する、コード用の線び（樋）及び留め具は、絶縁材料でできているか又は固定した絶縁ライニングを施さなければならない。	
				4.7.3	照明器具は、十分な安定性をもたなければならない。	
				4.10	端子 端子は、JIS C 8105-1 の第 14 章（ねじ締め式端子）及び第 15 章（ねじなし端子及び電気的接続）による。	
				第 1 部	第 1 部 8.2.6 感電に対する保護のためのカバー及びその他の部分の機械的強度	
				8.2.6		
第十二条	化学的危険源による危害又は損傷の防止	電気用品は、当該電気用品に含まれる化学物質が流出し、又は溶出することにより、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	■該当 □非該当	4.4	一般的要求事項 一般的要求事項は、JIS C 8105-1 の第 0 章（総則）による。JIS C 8105-1 の各々の該当する章に規定されている試験は、この規格に規定する順序で実施しなければならない。	
				第 1 部	4.27B 供用期間中の発煙、発火などの防止	
				4.27B	次の試験を行ったとき、炎、煙又は可燃性ガスが発生しない。	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
第十三条	電気用品から 発せられる電 磁波による危 害の防止	電気用品は、人体に危害を及ぼすおそれのある電磁波が、外部に発生しないように措置されているものとする。	■該当 □非該当	4.4 第1部 4.24.1 第1部 4.24.2	一般的要求事項 一般的要求事項は、JIS C 8105-1の第0章（総則）による。JIS C 8105-1の各々の該当する章に規定されている試験は、この規格に規定する順序で実施しなければならない。 第1部4.24.1 紫外放射 第1部4.24.2 青色光による網膜傷害	
第十四条	使用方法を考 慮した安全設 計	電気用品は、当該電気用品に通常想定される無監視状態での運転においても、人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないように設計され、及び必要に応じて適切な表示をされているものとする。	■該当 □非該当	4.13 第1部 4.26	耐久性試験及び温度試験 耐久性試験及び温度試験は、JIS C 8105-1 の第 12 章（耐久性試験及び温度試験）による。 第 1 部 4.26 短絡保護 絶縁しない可触の異極の安全特別低電圧部（SELV）の短絡事故の下での安全保護手段	
第十五条 第1項	始動、再始動 及び停止によ る危害の防止	電気用品は、不意な始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	□該当 ■非該当	—	—	照明器具は、不意な動作によって人体に危害が及ぶおそれがない。
第十五条 第2項	始動、再始動 及び停止によ る危害の防止	電気用品は、動作が中断し、又は停止したときは、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	□該当 ■非該当	—	—	照明器具は、再始動によって人体に危害を及ぼし、又は物件に

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
						損傷を与えるおそれがない。
第十五条 第3項	始動，再始動 及び停止による 危害の防止	電気用品は，不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし，又は物件に損傷を与えるおそれがないものとする。	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	照明器具は，不意な動作の停止によって人体に危害を及ぼし，又は物件に損傷を与えるおそれがない。
第十六条	保護協調及び 組合せ	電気用品は，当該電気用品を接続する配電系統や組み合わせる他の電気用品を考慮し，異常な電流に対する安全装置が確実に作動するよう安全装置の作動特性を設定するとともに，安全装置が作動するまでの間，回路が異常な電流に耐えることができるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.8 4.9 4.10 4.11	沿面距離及び空間距離 沿面距離及び空間距離は，JIS C 8105-1の第11章（沿面距離及び空間距離）による。 保護接地 保護接地は，JIS C 8105-1の第7章（保護接地）による。 端子 端子は，JIS C 8105-1の第14章（ねじ締め式端子）及び第15章（ねじなし端子及び電氣的接続）による。 外部及び内部配線 外部及び内部配線は，JIS C 8105-1の第5章（外部及び内部配線）によるほか，次の4.11.1～4.11.4による。	
第十七条	電磁的妨害に 対する耐性	電気用品は，電氣的，磁氣的又は電磁的妨害により，安全機能に障害が生じることを防止する構造であるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.4	一般的要求事項 一般的要求事項は，JIS C 8105-1の第0章（総則）による。JIS C 8105-1の各々の該当する章に規定されてい	

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
				4.8	<p>る試験は、この規格に規定する順序で実施しなければならない。</p> <p>沿面距離及び空間距離</p> <p>沿面距離及び空間距離は、JIS C 8105-1の第11章（沿面距離及び空間距離）による。</p>	
第十八条	雑音の強さ	電気用品は、通常の使用状態において、放送受信及び電気通信の機能に障害を及ぼす雑音を発生するおそれがないものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	—	—	照明器具に対する雑音の強さは、J55015 の別規格で規定されている。
第十九条	表示等（一般）	電気用品は、安全上必要な情報及び使用上の注意（家庭用品品質表示法（昭和三十七年法律第百四号）によるものを除く。）を、見やすい箇所に容易に消えない方法で表示されるものとする。	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 非該当	4.6 第1部 12.3.2	<p>表示</p> <p>表示は、JIS C 8105-1 の第3章（表示）によるほか、次の4.6.1 及び4.6.2 による。</p> <p>第1部 12.3.2 耐久性試験後の表示の可読性に対する規定</p>	
第二十条 第1号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>次の各号に掲げる製品の表示は、前条の規定によるほか、当該各号に定めるところによる。</p> <p>一 扇風機及び換気扇（産業用のもの又は電気乾燥機（電熱装置を有する浴室用のものに限り、毛髪乾燥機を除く。）の機能を兼ねる換気扇を除く。） 機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間（消費生活用製品安全法</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
		<p>(昭和四十八年法律第三十一号) 第三十二条の三 第一項第一号に規定する設計標準使用期間をいう。以下同じ。)</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>				
第二十条 第2号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>二 電気冷房機（産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。
第二十条 第3号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>三 電気洗濯機（産業用のもの及び乾燥装置を有するものを除く。）及び電気脱水機（電気洗濯機と一体となっているものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。
第二十条 第4号	表示（長期使用製品安全表示制度による表示）	<p>四 テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限り、産業用のものを除く。）機器本体の見やすい箇所に、</p>	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	—	—	長期使用製品安全表示制度については、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。

技術基準との整合確認書

技術基準			該当	規格		補足
条	タイトル	条文		項目番号	規定タイトル・概要	
	示制度による表示)	<p>明瞭に判読でき、かつ、容易に消えない方法で、次に掲げる事項を表示すること。</p> <p>(イ) 製造年</p> <p>(ロ) 設計上の標準使用期間</p> <p>(ハ) 設計上の標準使用期間を超えて使用すると、経年劣化による発火、けが等の事故に至るおそれがある旨</p>				<p>いては、省令で明確に規定されているため、整合規格は不要。</p>